



# 甲骨文字に挑戦

向井哲夫  
(寝屋川定)

病み上がりのつれづれに、長年の懸案であった甲骨文字に挑戦した。用いたテキストは『甲骨文字典』。この本は1989年中国の四川辞書出版社から徐中舒主編で出版されたもの。

千六百頁。甲骨文字の解説、甲骨文の引用、釈文などからなる。甲骨文の引用は「鉄雲蔵亀」以来のあまたの研究書からの引用であり、原典に触れられない者にとつてはまことにありがたい。

大きな字で書かれており、読みやすい。甲骨文には祭名やたりの記述がとにかく多い。こうした専門的であると同時に、入門書としても活用できる。

きる書はなかなかないし、日本では手間暇がかかるので発行されないであろう。現代中国語の知識が若干必要。「華乳」なる学術用語があることを初めて知りました。

角川書店の『新字源』の漢字の成り立ちの部分は甲骨文字の研究を踏まえており参考になる。

白川静の『甲骨文の世界』（平凡社）は甲骨文の原文を紹介し、釈文を施したものが、なかなか難しかったが、字典を学習するとわかってくる。

他の領域のことは分からないが、甲骨文の研究からも明らかのように、中国では学問の基礎を重視すると思う。これが論文数世界一の根底にあるものと思う。日本の学術はどうなのだろうか

## 近況報告です

梶原市朗  
(富田林)

相変わらず『遊歴日記』という幕末の古文書に取り組んでいます。

二本松藩の医者が3年におたつて長崎まで往復する旅日記です。とても面白い文献ですが、地元では存在すら知られていません。

菓(もり)中に読んだ本より

## 加賀之彦「帰らざる夏」

佐分利義和  
(みどり清明)

どこにでもいるごく普通の少年が、難関の陸軍幼年学校に、親の希望などもあり入学することになる。そこで彼は反発を感じながらも周りの先輩や教員たちを通じてじ

講談社文芸文庫

じわと皇国思想に染まってくる。終戦の年、度重なる都市部への空襲、広島長崎への原爆投下など戦況不利の下、仲間とともに本土決戦を覚悟した矢先、終戦の玉音放送を聞く。15歳の少年は、大人たちの豹変ぶりが理解できず、また天皇の「御心」を理解し得

ないまま天皇を信じ自刃する。作品に通底している、作者の自己体験によって培われた戦争観が感じ取れるのはもちろんだが、普通の子どもの周りの環境によってどのよう

## 初めてのオンライン授業

笹岡優光  
(茨田)

昨年の9月から、大阪市内のある私立高校に週3日の非常勤講師として勤めています。このコロナ禍のもと、3月、4月、5月のまる三ヶ月間、自宅待機という状態でした。私学は府立高校と違って月給制ですので、給料はありました。

5月の中旬、オンライン授業のため何日か出勤してほしいと、学校から連絡がありました。しかしオンライン授業と

に思想形成されていくのかという観点から大変興味深い作品である。文庫本で600ページ以上、ぎつしり詰まった活字、情景描写、心象描写とも格調高い文体。そこから

感想としては、生徒のいない教室で、カメラに向かって一方的にしゃべるこのオンライン授業というのはとても楽なものでした。

しかしこの授業のやり方は、私にとって全く画期的なものでした。私は生来、大変な悪筆でいつも板書に苦労してました。しかしこのやり方であれば、前もって教材を作っておけば、板書の必要はありません。

それで、6月1日から授業が始まりました。教室にノートパソコンを持ち込んで、そのやり方で授業をしています。

## 新型コロナ禍で考えたいこと

柚木健一 (牧野)

(NPO法人教育相談おおさか相談員)

増え続ける登校拒否・不登校。文部科学省の全国の小中高校での不登校の統計によると、18年度小中学校の登校拒否・不登校人数は過去最多となりました。

大阪府 小中学校1万1414人 中学校では8316人千人中36.8人  
大阪市 中学校では2683人 千人中52.8人  
(全国ワースト1位)  
大阪府 高校 6106人 千人中26.9人  
(全国ワースト1位)

登校拒否・不登校の人数・割合とも2012年までは微減傾向にありましたが、2013年以後からまた毎年増え続けており、増加は2012年12月に第2次安倍政権発足と軌を一にしています。

2013年、安倍政権は全国学力テストを悉皆調査に戻して成績公表など学テの点数競争が激化。大阪府は平均点を上げることを至上命題として、高校入試の内申書成績のため中学校チャレンジテストを府独自で実施するなど、子どもたちは点数競争とテスト漬けに置かれています。加えて「ゼロトレランス」「学校スタンダード」による管理教育を強め、更に新学習指導要領実施によって、小学校4年生以上は授業時間が中学校と同じ1015時間(週当たり29時間)になる究極の詰込み授業など、子どもたちの「生きづらさ」は増幅するばかりです。

## 当面の日程

- 7月17日(金) 13:00第301回 幹事会教育会館2F「コスモス」
- 7月28日(火) 10:00通信7月号と総会議案書発送作業705号室 (日程変更)
- 経過報告
- 6月20日(土) 13:00府高教第91回定期大会エルおおさか「南ホール」(大会へはメッセージ送付)

今回、多くの方から投稿がありました。紙面の関係上、次号以降に掲載の予定です。また勝間 眞さん(山本)「補聴器問題を考える」の連載も次号以降に掲載予定です。

## 府高退助氏

門田向日子(布施) NO.189

